

MEDICAL TALK SHOW



穎明館の先輩医師たちが語る、人生・仕事・医療の最前線

日時 2026年8月23日(日)13:00～15:00

場所 穎明館中学高等学校 21世紀記念館 大教室

対象 中学受験希望者、保護者、在校生、卒業生、教育関係者、一般の方

主催 穎明館医師の会・穎明館在校生 ～Eimei-kan Medical Kconnection～

医師の会メンバー



詳細はこちらから



佐藤雄哉 医師(12期生)

東京科学大学消化管外科学分野
准教授
【消化器外科】



高野 祥子医師(16期生)

横浜市立大学附属病院核医学
診療科講師
【放射線治療科 核医学診療科】



好川謙一医師(16期生)

南多摩病院 総合内科医長
クリニック田島理事長
東京慈恵会医科大学消化器
肝臓内科
【総合内科、消化器肝臓内科】



山高謙医師(17期生)

西八王子やまたか消化器内視鏡
クリニック 副院長
【消化器外科、消化器内視鏡科、肛門科】



毛利晃大医師(21期生)

やまと在宅診療所郡山 院長
【救急科、整形外科】



竹内博一医師(21期生)

埼玉県立小児医療センター
【小児科】



志村有永医師(22期生)

順天堂大学静岡病院、整形外科
【整形外科、脊椎脊髄外科】



えい めい かん
穎明館中学高等学校
Eimeikan Junior-Senior High School

〒193-0944 東京都八王子市館町 2600
TEL 042-664-6000 FAX 042-666-1101
<https://www.emk.ac.jp>



アクセスはこちらから

AIの発展により、知識や情報は誰もが手に入れられる時代になりました。

しかし、人生の選択や挑戦を支えてくれるのは、今も昔も人との出会いやつながりです。

今回の交流会では、穎明館を卒業し、救急科、外科、小児科、整形外科、放射線科、内科など様々な分野で活躍する医師たちが集います。

前半では、高校時代の経験や進路選択、医師を志したきっかけなどを通じて、在校生や受験生の皆さんと「これからのキャリア」について考えます。

後半では、それぞれの専門分野から、子どもの健康、スポーツやケガ、救急医療、がん治療、高齢化社会における医療など、私たちの暮らしに身近なテーマについてお話しします。

人生を変える出会いとは何か。

AI時代に求められる力とは何か。

そして、人生100年時代をより健康に生きるために何が大切なのか。

世代を超えた対話を通じて、ともに考える時間にしたいと思います。

主催者コメント《穎明館医師の会》

穎明館医師の会は、卒業生同士のつながりを深めるとともに、その輪を在校生や地域の皆さまへ広げていきたいという思いから発足しました。

私たちは、人生において努力が大切な土台である一方、「誰と出会うか、つながっているか」も人生を大きく左右すると考えています。野口英世には小林栄先生、ヘレン・ケラーにはサリバン先生がいたように、出会いやつながりは人の可能性を大きく広げる力を持っています。

また、医師として多くの患者さんやご家族と向き合う中で、人とのつながりが人生や健康に与える影響の大きさも実感してきました。

AIが発展する時代だからこそ、知識だけでなく、人との出会いや信頼関係の価値はますます高まっていくでしょう。穎明館には、人と人が学び合い、高め合う文化があります。その文化を卒業後もつなぎ、広げていくことが私たち医師の会の願いです。

今回の交流会が、新たな学びや挑戦、そして未来へ続くつながりのきっかけとなれば幸いです。

穎明館医師の会

医療の最前線で活躍されている先輩たちが、穎明館に帰っていらしてお話をしてくださいませ。
今回、初めてこのような会を開催できることは、大変にありがたいことだと感じています。
一生懸命準備を行っています。自分自身のこれからの経験値としてさまざまなことを学んで
いただけたらうれしいです。ぜひ、トークショーにお越しください。

生徒会長 衛藤諒弥

